

3月に入り、海では春の到来を告げる「いかなご漁」が解禁となり、陸の方でも“啓蟄”が過ぎて春の陽気に包まれ、暖かくなってきました。

1. 暮らしのうつりかわり展 観覧者数 1万人を突破

2月4日(土)から始まった「暮らしのうつりかわり展」の観覧者数が3月5日(日)に1万人を突破しました。例年を上回る出足で、明石・神戸以外にも淡路から観覧に訪れる学校もあり、小学生や一般の方で連日会場がにぎわっています。観覧を終えた小学校からは、「観覧時間が足りません。もっと見たかった」「ボランティアさんの解説が丁寧で、やさしく接してもらいました」「子どもたちの目線で話しかけていただき、子どもたちも質問しやすかったようです」といったアンケートやボランティアさんへのお礼の手紙なども届いています。



どん馬の実演



井戸端でのせんたくはね



氷冷蔵庫の説明

2. ワークショップの様子 布ぞうり作り

3月5日(日)には「布ぞうり作り」を実施しました。ワークショップグループの方々とは昨年からの準備を進め、今回が初めての開催でしたが、20名の定員に対して28名の方が参加され、ほぼ一日がかりで布ぞうりを編まれました。東舞子から小学3年生の娘さんと参加されたお母さんは「布の始末の仕方がなんて合理的なんでしょう。ムダにしないところが素晴らしいです」また、娘さんの浴衣を持ってこられた方、夏のワンピースや昔の着物をほどいて持ってこられた方もおられ、再利用するよさを感じておられました。「昔々、私が3年生だったころ工作の時に作りました」「家で孫6人分を作ってみます」といった感想もあり、「ぜひ2回目も企画してくださいね」といった声もあがりました。さらに編み方の研修を深めて、企画したいと考えています。



小学生もできました



引っ張り具合がむずかしい



おしゃれな色で



ご夫婦で



お互いの作品の鑑賞しました



さっそくはいてみました

【これからの予定】

3月11日(土)13:00～15:00 「石臼をまわそう」(大豆からきな粉を作ります)

<http://www.edi.akashi.hyogo.jp/bunpaku/>

明石市立文化博物館 編集：永田浩史